

大草谷津田いきものの里 自然観察会

虫さん 花さん もう起きた

岡田 敬子 (千葉市)

日 時: 2016年3月20日 (日) 10:30~12:00 天候: 曇り時々晴れ

参加者: 16名 (おとな9名、子ども7名)

担当指導員: 松本美千代・岡田敬子

朝は曇り 虫さんも花さんも寝坊 ケーブルテレビの取材の方も心配するほど参加者も遅く来場。虫さんは寒い冬をどんな姿で過ごして来たか、花さんはロゼットや固い芽で寒さを凌いで来た草や木はどうなっているか。下見で見られた虫さんは卵、サナギ、幼体などの表に。花さんは白、黄、青、紫の花色、その他に分けた表を参加者に渡して、見つけたら印をつけてもらうことにした。広場、駐車場にはツクシ、スギナに○、オオイヌノフグリとフラサバソウは隣同士で咲いている。青色の花に○印。ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、カラスノエンドウは紫に○。セイヨウタンポポは黄色の花に○。カマキリとだけ書いてあったのを見た虫好きの女の子はオオカマキリとハラビロカマキリの卵のうがあると言う。小さな男の子はヤマナメクジを見つけ得意げに見せてくれた。

杉林に入ると唇に合わせたようにヒガンマムシグサがあった。明るいうめじろんばいに出るとムラサキケマン、タチツボスミレ、ジロボウエンゴサクの花、紫色に○。カントウタンポポ、ケキツネノボタン、タガラシは黄色の花に○。ビロードツリアブがホバリングしながら花の蜜を吸っている。

曇りで飛ぶチョウが少なかったがスプリング・エフェメラルのツマキチョウ♂を網で捕った男の子がいて皆に見てもらえた。青い色のコガタリハムシも起きてきた。田んぼにはニホンアカガエルのオタマジャクシ、アズマヒキガエルの卵があり、シュレーゲルアオガエルが合唱している。

畔には種浸けの頃に咲くタネツケバナが満開。参加のお母さんがブーケの様と他にノミノフスマ、オランダミミナグサ、ナズナ、シロツメクサ、コハコベと白い花に○ムラサキサギゴケは紫に○ウグイス、ヒヨドリの声もきこえ、谷津田はいきものたちでにぎやかになって来た。

ケーブルテレビのインタビューに子どもたちが「田んぼが楽しい」「姿が見えないカエルに遭いたい」など笑顔で答えていた。

4月3日第一日曜はお休みですが「いきものの里」は開いているので遊びに来て下さい と言って観察会を終えた。

